

京都大学西洋古典学研究室
春休み特別企画

ペトラルカ「古代人宛書簡」を読む



イタリアの詩人・人文主義者フランチェスコ・ペトラルカ（1304~1374）は、二十代後半から老年に至るまで膨大な書簡を書き続けました。それらは『親近書簡集』（*Epistolae familiares*）と『老年書簡集』（*Epistolae seniles*）という形にまとめられ、思想的にも歴史的にも彼の生涯を知るうえで欠かせない作品です。このうち全24巻におよぶ浩瀚な『親近書簡集』の最終巻には、キケロやセネカを筆頭として、古代人に宛てた書簡が収められています。

このたび京都大学西洋古典学研究室では、ささやかではありますが、この「古代人宛書簡」を読む会を企画しました。開催期間は春休み中、キケロ宛書簡から順次読み進めていく予定です。ルネサンス期のラテン語に興味のある方は奮ってご参加ください。

第1回開催

日時：2015年1月30日 16:30~

場所：西洋古典学研究室（文学部新館6階）

お問い合わせ・参加申し込みは以下まで。

zhuxia_1024@sepia.plala.or.jp（西洋古典学専修・修士1年 竹下）